

子ども農山漁村交流プロジェクト 環境省の施策・支援について

令和2年度版

環境省
自然環境局 国立公園利用推進室

日本の国立公園

<国立公園とは>

日本を代表する自然の風景地を指定しています。

国（環境省）が指定し、自治体や地域の関係者と共に管理しています。

全国で34カ所が指定されており、総面積は国土の約5.8%を占めています。



＜日本の国立公園の特色＞

日本の国立公園では、自然の風景や動植物だけでなく、
その自然に育まれた農林漁業や伝統文化、食など、
その地域ならではの人の暮らしに触れられるのが特徴です。

国立公園内の自然体験を通して人と自然のつながりを学ぶことは、
子どもたちの生きる力や豊かな人間性の形成に寄与します。
このような取り組みを支援するため、環境省では様々な施策を行っています。



子ども農山漁村交流プロジェクト 環境省の支援(施策)について①

子どもパークレンジャー事業 (自然公園等利用ふれあい推進事業)

令和2年度予算額
9百万円(9百万円)

○小中学生を対象に、国立公園を中心に山や里、川、海などのフィールドにおいて、国立公園で働く自然保護官(パークレンジャー)の体験や、野外活動等を通した、自然のすばらしさを体感する自然ふれあいプログラムを実施しています。

○子どもたちが、国立公園などの自然豊かな農山漁村に滞在することを通じて、心の豊かさや、生きる力を育むための自然体験・教育プログラムの実施を行っています。



イベント情報などの詳細はこちら！

環境省 自然大好きクラブホームページ内「子どもパークレンジャー」
<http://www.env.go.jp/kids/gokan/jpr/index.html>

子ども農山漁村交流プロジェクト 環境省の支援(施策)について②

国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業

令和2年度予算額
7百万円(7百万円)

○ 国立公園を中心とした、子ども滞在型農山漁村体験教育の推進体制及び受入体制の強化を図るために、国立公園エリアにある受入側となる農山漁村地域における推進体制づくりを支援します。

○ 受入地域の協議会や住民、民間事業者と協力した人材育成、自然体験プログラムの開発・強化・充実への取り組みを支援します。



期待される効果

- 自然環境や国立公園への理解や訪問意識の高まり、利用者の増加
- 子ども自然体験活動の受入に伴う交流人口の増加、地域活性化
- 子どもの生きる力、豊かな人間性の形成

環境省からのご案内

○ご相談の際には○

お近くの国立公園の自然保護官事務所や地方環境事務所まで！

＜全国の自然保護官事務所や地方環境事務所は、こちらを検索！＞

<http://www.env.go.jp/park/office.html>

＜ご相談内容例＞

- 国立公園とは？ どんな体験プログラムがある？ 体験イベントは？ 何ができる？
- 体験プログラムづくり、モニターツアー等の取り組み支援の相談
- 体制づくり、ガイド・コーディネーターの育成支援の相談 等々

○自然体験活動をするなら○

環境省で、自然体験活動の拠点施設情報などをとりまとめています。
是非ご活用ください！

＜N A T S 自然大好きクラブＨＰ＞

<http://www.env.go.jp/nature/nats/>

本資料に関するお問合せ、ご相談先：

環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 田中、竹節
TEL：03－5521－8271（直通）